

4月28日（金）に慰霊式と命を守る講演会が行われました。



1995年（平成7年）本校では、悲しい出来事が起こりました。その悲しみを忘れない、みんなが楽しい学校生活を過ごしていけるよう、FPK0部（ふち・ピースキーピング・オペレーションズ）を立ち上げ、活動しています。

28日は、朝から慰霊碑に向かい献花と黙祷を行いました。

各学級では、オンライン配信を活用しFPK0部の委員長から説明が行われました。また、慰霊碑に向かい黙祷をするのに合わせ、全員で黙祷を行いました。一人ひとりがお互いを尊重し、認め合い、大切にしていけることを誓ったのではないのでしょうか。



5・6時間目には、傳均（つたえひとし）先生による講演会が行われました。この講演会の中では、「見たことは覚えておくことができる」ということで、生徒による寸劇が行われました。劇を通して、多くのことに気づくことができました。



傳先生には「少数派は敏感、多数派は鈍感」というテーマで講演をしていただきました。「左手を握り、1分間でスケッチをしてください」、この発問に多くの生徒は何の疑問も持たずに描いていましたが、何か意見がある人との質問に「僕は左利きなので描けません」と発言する生徒。多くの生徒がハッとしたのではないのでしょうか。



最後に、「けんかといじめ」の違いは何かと質問がありました。「けんか」は互いに怒りの感情がある。しかし、「いじめ」は一方に快楽と楽しみがある。多数派が楽しみ、少数派が苦しんでいる。「遊んでいるだけです」といった発言は、本当はいじめではないか。

自分が多数派か少数派かは、場面場面で違えることがある。多数派だと思ったときは自分は鈍感だと思えばいい。そのことに気づくことができれば、きっと苦しんでいる人に気づくことができるのではないだろうか。